

茅浜松八幡宮 の輪くぐり

夏の訪れを告げる「茅の輪」

境内の参道に、葦で作られた高さ1間の茅の輪。日本は古くから豊葦原瑞穂国とも呼ばれ、葦は難を除ける御利益のある植物としています。浜松八幡宮では夏越大祓式に向けて、毎年6月下旬に茅の輪が設置され、式後七数日間は自由に茅の輪をくぐることができます。地域の人たちに季節の節目を感じられるものとして親しまれています。



茅の輪をくぐり無病息災を祈る

「夏越大祓式」は6月30日午後6時30分より本殿にて執り行われます。式後は、神職を先頭に、氏子崇敬者、参列された方々とともに「左、右、左」と茅の輪をハの字を描くように3回くぐります。当日参列すれば、どなたでも参加することができます。新緑が鮮やかな八幡宮境内で罪穢れを祓い清め、清々しくさわやかな心と身体となり、暑い夏を元気に過ごしたいものです。

DATA
浜松八幡宮
浜松市中区
八幡町2番地
TEL 053-461-3429

浜松八幡宮では、「茅の輪を身に付けた人は厄災疾病を免れる」とされる古事に習い、茅の輪をくぐり、無病息災を願う神事が行われています。

罪穢を拭う身代わりの人形

人は日々の生活の中で、知らず知らずのうちに罪や穢れが生じると考えられてきました。浜松八幡宮の大祓は毎年6月と12月に行われます。夏の大祓は正月から半年間の穢れを祓い、7月からの半年間の無事を祈願します。大祓式では「形代」という人の形をした白い紙に自分の名前と年齢を書き、体の悪いところをなで、息を吹きかけ、我が身の身代わりに見立てたものを奉納し、祓い清めます。



境内の参道に、葦で作られた高さ1間の茅の輪。日本は古くから豊葦原瑞穂国とも呼ばれ、葦は難を除ける御利益のある植物としています。浜松八幡宮では夏越大祓式に向けて、毎年6月下旬に茅の輪が設置され、式後七数日間は自由に茅の輪をくぐることができます。地域の人たちに季節の節目を感じられるものとして親しまれています。



for your smile ~あなたの笑顔に逢いたくて~  浜松信用金庫

ija!
【イジャ】
Vol. 13 Spring & Summer 2018

まち・人・文化 地域情報誌 ija! 【イジャ】は、地域のみなさまに浜松の文化的な魅力を発信し、心豊かな生活に役立てていただきと発刊したものです。
【イジャ】は遠州弁の「いじや（さあ、行こう）」。
この地域にふさわしい、前向きで未来志向のメッセージをタイトルに込めていました。

2018年4月発行
発行 ● 浜松信用金庫
〒430-0946 浜松市中区元城町114-8
Tel. 053-450-3250
ホームページ ● <http://www.hamamatsu-shinkin.jp>
編集・制作 ● 株式会社メディアトーカ

